

テーマ:山城の地域保存貢献活動

建築屋たち

1 企画概要

安芸高田市にある八千代湖付近の田谷城跡(山城)に、現地で間引きされた木材を資源として利用し、ベンチや看板などを制作・設置することで地元の方や観光客の憩いの場を設ける。また、活動を通して地域の活性化や宣伝を図る。



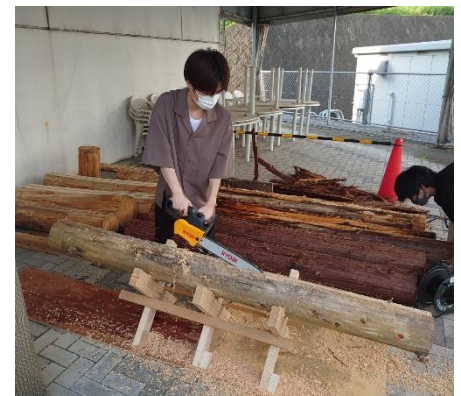
2 (1)活動内容

7月24日(日)に製作したベンチを山城に運搬し、現地での設置活動を行った。当日は朝から夕方までの活動となったが地元住民である山城保存会の方々からチェーンソー等の工具の使用方法を指導していただき間伐作業の体験を行うなど、地元住民の方々との交流もでき、有意義な時間となった。



(2)活動内容

前記の現地での活動後、大学に間伐作業による木材を搬入し、次のベンチのための加工を現在行っている。鉋やチェーンソー等といった今まで使ったことのない工具も地元住民の方々からの指導を元に安全に配慮して加工を進めている。加えて、女子学生を中心に山城周辺の土地を利用したツリーハウスのデザイン案を設計、提案する活動も並行して行っている。



(3) 今後の活動予定

今後の活動としては、現在加工しているベンチ用の建材を2月頃に現地に運搬し、本丸及び二の丸にベンチを設置することを予定している。また、依頼者である山城保存会会長の徳様と相談しながら、一目見て何の城跡か分かる看板や登山者が休憩できるようなテーブルといった山城で活用できるものを新たに制作できないか検討している。

(4) まとめ・反省

山城の地域保存貢献活動を通して、地元住民の方との交流やその地域の歴史を知ること等、普段の学生生活では得ることのできない体験ができています。加えて、自分たちの意見やアイデアを相手に分かりやすく伝えるためのプレゼンをするなど今後社会で求められる力もこの活動を通して鍛えられているように感じます。

一方で反省点として、新型コロナウイルスの感染拡大により思うように活動時間が取れずに当初の予定に比べて予定が大幅に遅れたため、事前計画を入念に行わなければならなかった等が挙げられます。